

USER MANUAL JAPANESE

# 2020 FOIL



**CABRINHA** 

# A WARNING

安全のために必要な以下の内容に同意できない場合、この商品の使用を禁じます。また以下の内容は不定期に変更されることがあります。最新の情報をアップデートするために、絶えずカブリナ・カイトサーフィンのホームページ [WWW.CABRINHAKITES.COM](http://WWW.CABRINHAKITES.COM)をご覧ください。

使用者が18歳以下の場合、両親または保護者に以下の警告やインストラクションに関する項目とユーザーマニュアルを読んでもらう必要があります。レッスンを受け、インストラクターかマニュアルを読んだ者の監督下でしかこの製品を使用できません。

この製品にはその使用に伴い、予期せぬ危険が起こる可能性があります。カブリナおよび販売店は、当製品以外の資産の損失や他資産の消費に生じた損失、あるいはその他の経済的損失を含め、しかしそれに限定されず、いかなる特別的、間接的、付随的、結果的、法的もしくは模範的損害に関して、契約行為であったか、不法行為や過失があったか、厳正な賠償責任であったかを問わず、一切責任を負わないものとします。

カイトボードは激しいスポーツです。パワーカイトやそれにつながるライン、コントロール・エクイップメントは、使用者自身や回りの人々に危険を及ぼす可能性があります。カイトボードを行う際は真剣に、慎重に取り組み、経験が浅いライダーはプロのインストラクターや経験豊富なカイトボーダーのレクチャーを受けることをお勧めします。カイトの使用方法が正しくない場合は、ライダー自身や周りの人々に深刻な怪我を負わず、または最悪の場合には死に至らしめる可能性があります。電線や空港、建物、道路、樹木の近くではカイトを使用しないでください。カイトボードを行って良い場所で行うようにしてください。また、カイトのフライングラインが人や物に触れないようご注意ください。カイトは常に見通しの良い場所でご使用ください。風や天候に留意し、特に、オフショアやオンショア、強風時には注意が必要です。陸上で完全にカイトの操作ができるようになるまで、水上でカイトを使用しないでください。ライダー自身と周囲の人の安全を守るため、カイトの操作に慣れるよう陸上で十分に練習を行ってください。カイトを使用する際の安全面の責任は、すべてライダー自身にあるということを絶えず頭に入れておいてください。このスポーツを練習する際には、自己の限界を留意し、無理をしないようご注意ください。海上でカイトを使用する際には、安全上、必ず保護防具や浮力体を身につけ、カイトとライダー自身をほどけないほどしっかりと繋がないようにしてください。カイトを飛行目的、浮力体として使用しないでください。

# A WARNING

## お勧めのカイトボーディング練習方法:

カイトボードはいろいろなスタイルやレベルに応じて楽しめる多様なスポーツです。しかし、他のスポーツと同様に先天的な回避しがたいリスクも伴います。カブリナカイトを使用する前に、下記の安全上のキーポイントを覚えておきましょう。

- カイトボードは危険を伴うスポーツで、カイトボードの使用者は人体のあらゆる箇所に深刻な怪我をする恐れがあることを理解してください。
- カイトボードをする際に怪我をする危険性は非常に高く、カイトボードを始めようとする使用者はそれを理解しなければなりません。
- 未成年は必ず監督者のもとでこの製品を使用してください。
- 初心者はずっとレッスンを受けることを強くおすすめします。
- 使用する前には常にすべてのラインやキャンピー、ブラダー、ネジ、その他全般に、擦れや引き裂けの兆しがないかどうかチェックしてください。
- 擦れや引き裂けの兆しが見られた場合、使用する前にただちにリペアやパーツ交換を行ってください。擦れや引き裂けに関する質問がある場合は、地元販売店にお問い合わせいただくか、ホームページ [www.cabrinhakites.com](http://www.cabrinhakites.com) をご覧ください。
- ライダー自身や他の人が怪我をする可能性がある状態やカイトボードのいかなるパーツを破損する可能性がある状態を絶対に避けてください。安全に自力で岸に帰って来られる状態を保ってください。
- 正規販売店で購入した正規製造パーツを使用してください。
- 海の状況やカレント、天気予報など、コンディションに関して勉強し、そういった情報を出艇する前に必ず確認してください。オフショアやオンショア、強風でセーリングする際には注意が必要です。
- 初めてのポイントに行った場合、出艇する前にまずはそのポイントに慣れることを心掛けてください。危険なものがないかどうか、地元のライダーに訊ねましょう。
- 遊泳者や小さな子供など、他のビーチ使用者に注意してください。ボードとカイトやラインを常にコントロールできる状態を保ち、ビーチや海上で風に吹かれて飛ばされないようにしてください。
- 常に十分な浮力体をつけてください。ウェットスーツやUV効果のあるトップスなど、適正なスーツを身に付けて出艇してください。ヘルメットの着用を強くおすすめします。
- 絶えず出艇あるいはビーチに戻ってくるタイミングを他の人に知らせてから行動しましょう。セーリングパートナーをみつけ一緒にビーチにいきましょう。
- コンディションの変化(風が落ちる、風や波が上がるなど)に注意し、変化の兆しが見えたときには、常にビーチに戻ってください。
- ビギナーのうちは自己の限界を超えるコンディションでカイトボードしないでください。
- この製品は改造や変更をしないでください。
- この製品は海上または雪上でカイトボードすることだけを目的としてデザイン、製造されています。
- このマニュアルにはカブリナカイトを陸上、水上、雪上で扱ううえで大切な安全面を明記しています。

# A WARNING

## 雪上で使用する際の注意

- カイトボードの練習方法で留意しなければならない点は雪上での使用も含まれます。雪上でカイトを使用することがあるライダーは以下を熟読する必要があります。
- このカイトは雪上でのアトラクション製品として、完全にコントロールされ、しかるべきマナーのもとで広い雪の積もった広場で使用されなければなりません。
- このカイトを飛行目的で使用しないでください。峰や崖、斜面から上昇する目的でこのカイトを使用しないでください。
- ライダーがランディングする際に衝撃を受けるような、いかなるエアも行わないでください。
- 平坦でない地形やアイスバーン・コンディションなど、あらゆる山岳地で使用する際には十分な注意をはらう必要があります。山岳地の風は非常に不安定で、不意に風向きや強さが変わることがあります。
- この製品を電線やライフライン、樹木、他の障害物のある所で使用しないでください。こういった障害物との接触は深刻な事故に繋がる恐れがあります。
- 常に保護用のギアを身につけて使用してください。特にスノーボード専用のヘルメットの装着を強くおすすめします。
- カイトの飛行中は車やスノーモービルなど、それが動いているか否かに関わらず、動く物とライダーを接続しないでください。
- 常にカイトを十分にコントロールでき、人や障害物を避けたり止まれるように保つ必要があります。
- スノーカイト: 風下や下り坂にいるライダーには権利があります。自己の責任において他の人を回避してください。
- スノーボード: 傾斜の下にいる人に優先権があります。ルールに従い回避することはライダーの義務です。
- 他の人を邪魔をしたり見えない所で停止しないでください。
- 動き始める前には風上や斜面上、回りに人がいないことを確認してください。
- 常に流れ止めを使用してください。流れ止めを外す必要がある場合は、バインディングを雪につきさすようにしてスノーボードを山側に置き、ボードが滑らないようにします。
- すべての看板等、掲示物を確認してください。
- 滑走禁止区域で使用しないでください。
- スノーボードと合わせてカイトを使用する前には、スノーボードに乗るための知識と安全に着脱できる能力が必要です。
- アルコールや薬の影響がある状況、または体調が優れない場合はスノーボードやスノーカイトしなでください。
- 雪山やスノーボード/スノーカイトのコンディションは絶えず変化します。人造物や樹木、岩、破片、斜面、雪崩地域、クレバス、崖、電線、リフトのライン、ウォーターハザード、太陽が照りつけることによって起る雪面の変化、風や天候の変化など、スノーボード/スノーカイトのコントロールに影響を与えるすべての事項に十分に注意してください。



## コンテンツ

---

# CABRINHA

- 1 フォイルキットの搭載、組み立て  
(HI-RISE LIFT / HI-RISE SPEED / CARVE / VARIAL)
- 5 アクセサリーのボードへの搭載
- 8 フォイルのケアに関する情報

## foil kitの組み立て

# HI:RISE SPEED HI:RISE LIFT

# HI:RISE CARVE HI:RISE VARIAL

### キットに入っているもの:

1. キットに入っているもの:
2. フロントウイング (Speed/Lift/Carve/Varial)
3. リアウイング (Speed/Lift/Carve/Varial)
4. フュースレージ (胴体)
5. マスト
6. トッププレート
7. トッププレート搭載用マスト用ネジ 2x40cm
8. フュースレージ搭載用マスト用ネジ 2x50cm
9. リアウイング搭載用ネジ 3x (Speed:16mm/Lift:14mm/Carve/Varial:20mm)
10. フロントウイング搭載用ネジ (モデルごとのページを参照)
11. ダブルエージェント搭載用ネジセット 4x25mm
12. 5mmアレンキー (六角レンチ)
13. グリース

### 組み立て

1. 少量のグリースをフュースレージの後方のネジ穴2箇所に塗ります。リアウイングは取り付けオプションが2つあります。

前寄り：高いマニューバビリティ、後寄り：高い安定性

2. リアウイングを取り付けます。上記のネジの長さを参考に適切なネジを用いて付属の六角レンチを使い、ネジを手締めします。電動工具は使用しないでください。

3. フロントウイングを搭載するため、少量のグリースをフュースレージの前方3つのネジ穴に塗ります。

4. 記載された通りの長さのネジを用い、フロントウイングを取り付けます。記載された物差しを使うとネジの長さを判別するのに便利です。



FIG 3



FIG 4

## foil kitの組み立て

---

### 組み立て (続き)

5. 少量のグリースをマスト上部のネジ穴2箇所に塗ります。



6. マスト上部にトッププレートに乗せ、付属の50mmネジを用いてマストにトッププレートを搭載します。きちんと締めるために付属のツール（六角レンチ）を用いてください。



7. 少量のグリースをマスト下部のネジ穴2箇所に塗ります。



8. マスト下部にフュースレージに乗せ、付属の40mmネジを用いてマストにフュースレージとウイングを搭載します。きちんと締めるために付属のツール（六角レンチ）を用いてください。



**注意：電動工具を使って組み立てを行うと、斜めにネジを挿入したり、挿入口を破損する可能性があります。電動工具を用いて起こった不具合は保証の対象外になります。**

## foil kitの組み立て

---

### ダブルエージェントへのフォイルの搭載

1. 少量のグリースをトッププレートのネジ穴4箇所に塗ります。



FIG 1

2. 付属の25mmネジを使い、トッププレートをダブルエージェントに取り付けます。付属の六角レンチを使い、しっかりと取り付けます。セッションの途中で緩んでくることもありますので、適宜確認してください。

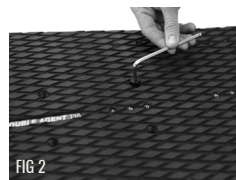


FIG 2

#### 注意：

電動工具を使って組み立てを行うと、斜めにネジを挿入したり、挿入口を破損する可能性があります。電動工具を用いて起こった不具合は保証の対象外になります。

使用後ネジ類は外して保管してください。ネジをつけたままにしておくと抜けなくなる可能性があります。



## foil kitの組み立て

### Xブリードとオートパイロットへのフォイルの搭載

1. ボードの上に梱包されたハードウェア類を取り出します (Xブリードフォイルの場合はフィンを含む)。少量のグリースを4つの座金に塗ります。



FIG 1

2. 座金2つを使い、ネジがとれない程度に数回ネジを回して仮止めします。



FIG 2

3. ネジ回しを使いそれぞれのトラックに座金をつけたネジを入れ、トラックの奥までスライドさせます。



FIG 3

4. 座金をその位置に残したままネジを取り外します。



FIG 4

5. トッププレートの前側の穴2箇所に通し、トラックに落ちない程度に軽く座金を取り付けます。そのままトラックに座金を入れます。



FIG 5

6. 右写真のように、トッププレートをトラックと平行になるように置き、トラック前側に取り付けたネジと座金を好みの位置までスライドして行きます。フォイルをノーズ寄りに取り付ければリフト性能が高くなり (nose up)、テイル寄りに取り付ければリフト性能が弱くなります (nose down)。



FIG 6

7. すでにトラックに入れてある後ろ用座金をフォイルの後ろ穴の位置にスライドして穴の位置を揃えます。4つのネジを均等に締めていきます。これで準備は完了です。楽しいグライドを!



FIG 7

## ボードアクセサリーの搭載

### foilボードへのストラップ搭載

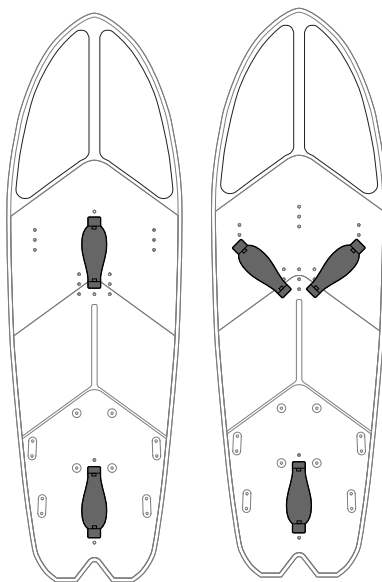
#### 必要な道具:

プラスドライバーと 5mm 六角レンチ

#### 注意:

カブリナ・ウルトラライトストラップは別売です

1. ストラップの正しい取り付け位置を確認します。カブリナ・ウルトラストラップは幅が広い方を外側に設置します。前ストラップの幅が広い方がノーズ寄りに、後ろストラップの幅が広い方がテイル寄りに取り付けます。この取り付け位置は、最高の快適さとパフォーマンスを供給し、ツイストしやすくルーズに足にフィットするセッティングです。よりタイトフィットを望まれる方はストラップの幅が広い方をボードの内寄りに取り付けてください。
2. フットストラップのワッシャーをカバー下のストラップ端に置きます。
3. ネジを差し込みます。
4. 好みの位置にネジを用いてストラップ固定していきます。
5. 同じ手順で全てのストラップをボードに取り付けます。



#### 注意:

電動工具を使って組み立てを行うと、斜めにネジを挿入したり、挿入口を破損する可能性があります。電動工具を用いて起こった不具合は保証の対象外になります。

## ボードアクセサリーの搭載

### ダブルエージェントへのフィンの取り付け

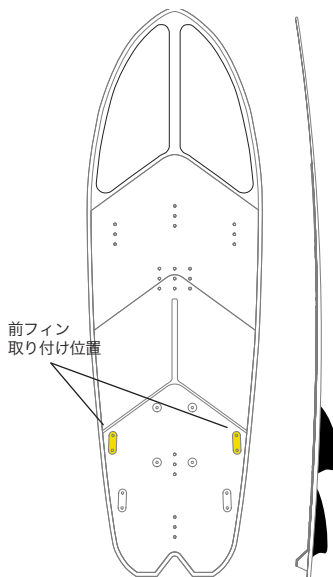
#### ボードに付属しているもの

ダブルエージェントx1  
フィンセットx1 (2x 30mm、2x 50mm)  
ステッカーx1  
M6x25mmネジx8

1. アクセサリー類を取り出し、上記リストの内容を確認します。付属しているフィンは2サイズのものでそれぞれ2枚です。
2. 50mm前用フィンを取り付けるため、ボードトップの前寄りの穴にネジを通します。(図参照)
3. とがった方を前に向けた50mmフィンをボードの下にあてがい、ボードの穴の位置とフィンの穴の位置を揃えます。
4. 5mm六角レンチを使い、ネジを締めます。
5. 同じ手順でもう一つの前用フィンをボードに取り付けます。
6. 同じ手順で30mm後ろ用フィン2つもボードに取り付けます。

#### 注意：

電動工具を使って組み立てを行うと、斜めにネジを挿入したり、挿入口を破損する可能性があります。電動工具を用いて起こった不具合は保証の対象外になります。



#### ホール・プラグ

フィンやマストを取り付けていない時に取り付け用の穴をカバーするためのものです。工具無しで取り付けられ、外す時には5mm六角レンチで押し出すことをお勧めしています。8mmプラグはマスト搭載用の穴に、6mmプラグはフィン搭載用の穴に適しています。プラグはライディング中などに落下してしまうことがあります。

## ボードアクセサリーの搭載

### Xブリードフォイルへのフィンの取り付け

#### ボードに付属しているもの

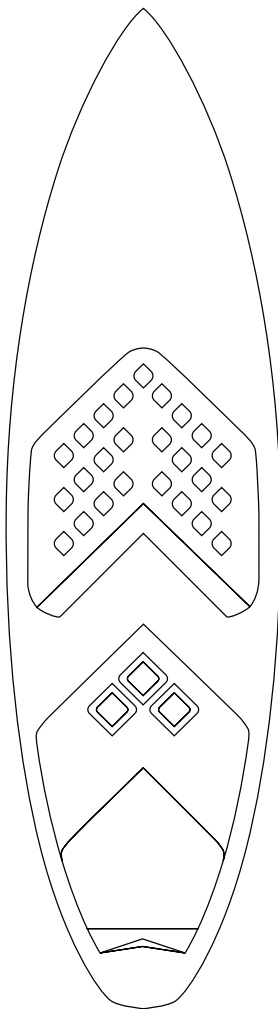
Xブリードフォイルx1  
スラスターRTMハイブリッドバンパー/ソリックフィン+ネジx1  
フィン取り付け用キー  
フロント/リアデッキパッド (装着済み)  
ステッカーx1

#### 必要な工具

フィン用キー (付属)

**注意:** ボードにネジを取り付ける際、電動工具を用いしないでください。電動工具による破損は保証の対象外となりますのでご注意ください。

1. アクセサリー類を取り出し、上記リストの内容を確認します。
2. フィンの取り付け位置を確認します。(サイドフィンは丸みを帯びた面をレール寄りに取り付けます)
3. 付属のフィン用キーを用い、ボードのボトムに搭載されているフィン用ネジを緩めます。(ボックス横にネジ穴があります)。ボックスの内側から見て、ネジが見えなくなるまでネジを緩めることをお勧めします。
4. フィンを差し込みます。ネジを手締めで締めます。ネジの締めすぎにご注意ください。





## フォイルとボードの取り扱いについて

### ボードとフォイルを長持ちさせるために

- カブリナが推奨するフィンやフットストラップ、アクセサリーを使用します。
- 全てのアクセサリーやハードウェアを搭載する際、電動工具を使用しないでください。電動工具を使用して生じた破損は保証の対象外になります。
- 全てのネジはしっかりと締めますが、締めすぎにご注意ください。
- ネジには多くの荷重がかかることがあります。そのため定期的にネジをチェックしてください。
- ボードやウイングに穴やヒビ、破損がないことを絶えず点検してください。
- 使用後は必ず真水ですすいでください。
- 長期保管する前には真水ですすいだ後、組み立てを外してください
- 破損や傷を見つけた場合、使用前に必ず専用シールなどを使い、適切な修理を行ってください。I
- 使用していないボードはカブリナのボードバッグに入れ、不必要な太陽光線、傷や擦れ、ひきさけを避けてください。
- 使用していないフォイルはカブリナのフォイルバッグに入れ、不必要な太陽光線、傷や擦れ、ひきさけを避けてください。
- カブリナのボードとアクセサリーは丈夫に作られていますが、全く破損しないわけではありません。岩やリーフなど硬いものに強くあたり衝撃を受ければボードやマスト、ウイングは破損します。そういった破損や傷は保証対象外となります。
- 使用後はネジ類は外すか緩めておいてください。外れなくなる可能性があります。

